

Symantec™ ApplicationHA 6.2 リリースノート - VMware での Linux

Symantec™ ApplicationHA リリースノート

この本で説明されているソフトウェアは使用許諾契約の下で提供され、同意条項に従う場合にのみ使うことができます。

製品のバージョン: 6.2

マニュアルバージョン: 6.2 Rev 1.

法的通知と登録商標

Copyright © 2015 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、Checkmark ロゴ、Veritas、Veritas Storage Foundation、CommandCentral、NetBackup、Enterprise Vault、LiveUpdate は、Symantec Corporation または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書に記載の製品は、ライセンスに基づいて配布され、使用、コピー、配布、逆コンパイル、リバーエンジニアリングはそのライセンスによって制限されます。本書のいかなる部分も、Symantec Corporation とそのライセンサーの書面による事前の許可なく、いかなる形式、方法であっても複製することはできません。

本書は「現状有姿のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性、不侵害の黙示的な保証を含む、すべての明示的または黙示的な条件、表明、保証は、この免責が法的に無効であるとみなされないかぎり、免責されるものとします。Symantec Corporation は、本書の供給、性能、使用に関する付随的または間接的損害に対して責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアと関連書類は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、Symantec により構内サービスとホスト型サービスのどちらとして提供されるかにかかわらず、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアと関連書類の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

弊社製品に関して、当資料で明示的に禁止、あるいは否定されていない利用形態およびシステム構成などについて、これを包括的かつ暗黙的に保証するものではありません。また、弊社製品が稼動するシステムの整合性や処理性能に関しても、これを暗黙的に保証するものではありません。

これらの保証がない状況で、弊社製品の導入、稼動、展開した結果として直接的、あるいは間接的に発生した損害等についてこれが補償されることはありません。製品の導入、稼動、展開にあたっては、お客様の利用目的に合致することを事前に十分に検証および確認いただく前提で、計画および準備をお願いします。

Symantec Corporation
350 Ellis Street
Mountain View, CA 94043

<http://www.symantec.com>

Symantec ApplicationHA リリースノート

この文書では以下の項目について説明しています。

- 概要
- [Symantec ApplicationHA](#) とは
- このリリースでの変更点
- システム必要条件
- ソフトウェアの制限事項
- 既知の問題
- このリリースでのソフトウェアの修正点と拡張機能
- マニュアル

概要

このマニュアルには、**Symantec ApplicationHA 6.2** に関する重要な情報が記載されています。**ApplicationHA** をインストールまたはアップグレードする前に、このリリースノートをお読みください。

このマニュアルは マニュアルバージョン:**6.2 Rev 1** です。

始めに、このマニュアルの最新版を参照していることを確認してください。最新版は以下から入手できます。

<https://sort.symantec.com>

リリースノートに記載された情報は、**ApplicationHA** の製品マニュアルに記載の情報に優先します。

このリリースで利用可能な最新のパッチを入手するには、
<https://sort.symantec.com/patch/matrix> にアクセスしてください。

Symantec ApplicationHA とは

ApplicationHA は、シマンテック社のアプリケーション可用性管理ソリューションの 1 つです。VMware vCenter Server が管理する仮想マシンの内部で実行しているアプリケーションの監視機能を提供します。Symantec ApplicationHA は、VMware の仮想化技術によって提供されるコアとなる HA 機能にアプリケーションを認識する層を追加します。

または、Symantec ApplicationHA は、VOM (Veritas Operations Manager) Management Server 6.0 以降が管理する仮想マシンの内部で実行するアプリケーションの監視機能を提供します。

Symantec ApplicationHA は、シマンテック社™ Cluster Server (VCS) に基づき、エージェント、リソース、サービスグループなどの類似概念を使います。ただし、GAB (Group Membership Atomic Broadcast) や LLT (Low Latency Transport)、および VxFEN (Veritas Fencing) などの高可用性クラスタコンポーネントは含まれません。Symantec ApplicationHA は、より迅速なインストールと設定を可能にする軽量版のサーバーフットプリントを使います。

主に次のような利点があります。

- VMware vCenter Server とのアウトオブザボックス統合。
- アプリケーションの完全な可視性と制御、仮想マシンの内部で実行中のアプリケーションの起動、停止、監視を行う機能。
- VMware vSphere クライアント、vSphere Web クライアント、またはその VOM 管理サーバーコンソールと統合した単一インターフェースを使ってアプリケーションを管理する標準的な方法。
- 特殊なアプリケーション保守モード(このモードでは、ApplicationHA により、保守またはトラブルシューティングの対象となっているアプリケーションを意図的に停止できます)。
- リカバリサイトで仮想マシンを起動した後にアプリケーション監視を再開する機能を提供する VMware SRM Server との統合。

主な機能

以下は、ApplicationHA の主な機能です。

- SAP NetWeaver、SAP Web Application Server、Oracle Database、Apache HTTP Server、DB2、MySQL、JBoss Application Server、WebLogic Server、WebSphere Application Server、WebSphere MQ などのエンタープライズアプリケーションのサポート。

- IMF (Intelligent Monitoring Framework) を使ったアプリケーション選択の迅速なエラー管理。
- インストールと設定のシンプルなワークフロー。
- vCenter の仮想マシンに対するシングルサインオン。
- ユーザー権限に基づく任意のアクセス制御。
- VOM (Veritas Operations Manager) 6.0 以降を使った、組織、ユーザーグループ、クラスタなどの組織のエンティティに基づいたアクセス制御。
- ApplicationHA をキーレスライセンスでインストールするオプション。ライセンス (評価ライセンスキーと永続ライセンスキー) を表示、管理するための VOM (Veritas Operations Manager) に組み込みのオプション。
- ApplicationHA のゲストコンポーネントのインストール、ライセンスの管理、サイトリカバリ用シングルサインオンの設定を行うための vSphere クライアント統合オプション。
- データセンター全体で Symantec ストレージと高可用性を管理するためにインストールされた製品の、配備サーバーを使った集中管理機能。
- Windows、Linux、AIX、Solaris SPARC のプラットフォームで実行中のアプリケーションを管理するための単一 GUI ([Symantec High Availability] ビューまたはタブ)。
- 設定済みのアプリケーションのコンポーネントの依存関係を GUI で表示する機能。
- 設定済みのアプリケーションをまとめて表示でき、管理者が VMware 仮想環境のアプリケーションを監視しやすい単一のダッシュボードインターフェース。
- アプリケーションエラー時の仮想マシンの正常な再ブートを設定できる機能。
- VMware SRM で制御されたディザスタリカバリ環境でアプリケーション監視の継続性を保つ機能。
- Symantec Agent Pack リリースで提供される、継続的なアップデートと追加アプリケーションのサポート。

このリリースでの変更点

この項では、新機能と属性、プラットフォームサポート、RPM の変更点を一覧表示します。

いくつかの ApplicationHA エージェントと VRTSaclib のパッケージ変更点

このリリース 6.2 以降、いくつかの Symantec ApplicationHA エージェント RPM と VRTSaclib は ApplicationHA インストールメディアのパッケージに含まれません。SORT

で、最新の **Agent Pack** リリースから必要なアプリケーションエージェントをダウンロードする必要があります。

ただし、次のアプリケーションのエージェントパッケージに変更はありません。**ApplicationHA** インストールメディアのパッケージに引き続き含まれます。

- Oracle データベース
- Apache HTTP サーバー
- DB2
- 汎用 (カスタム) アプリケーション

次の表に、各アプリケーションとその関連 **ApplicationHA** エージェントRPMを一覧表示します。これらは、**[SORT](#)** からダウンロードする必要があります。

表 1-1

アプリケーション (Application)	ApplicationHA エージェントRPM
JBoss Application Server	VRTSjboss
MySQL Server	VRTSmysql
SAP Web アプリケーションサーバー	VRTSsapcms
SAP NetWeaver	VRTSsaplc VRTSsapnw04 VRTSsapwebas71
WebSphere Application Server	VRTSvcswas
WebSphere MQ	VRTSmq6
WebLogic Server	VRTSwls
上記のすべてのアプリケーションに必要	VRTSacclib

Intelligent Monitoring Framework

VRTSamf は、このリリースで導入された新しいRPMです。パッケージを使うと、**Symantec ApplicationHA** エージェントで **IMF (Intelligent Monitoring Framework)** モジュールを利用できます。

IMF は、**ApplicationHA** エージェントで監視対象アプリケーションコンポーネント間の状態変更のポーリングを避ける方法を提供します。**IMF** により、エージェントで監視するコンポーネントを登録できます。アプリケーションコンポーネントの状態が変更されると、**IMF** はすぐにエージェントに通知します。したがって、イベントが起きたらすぐに修正処理を適

用できます。IMF により、ApplicationHA エージェントは、パフォーマンスへの影響を最小限に抑えながら、多数のコンポーネントを監視できます。

次の ApplicationHA エージェントの IMF サポートがこのリリースで導入されました。

- Apache HTTP サーバー
- DB2 データベース
- Oracle データベース
- 汎用(カスタム)アプリケーション

メモ: Symantec High Availability 設定ウィザードは、デフォルトで IMF サポートを有効にします。IMF サポートを無効にするには、VCS (Symantec Cluster Server) コマンドを使う必要があります。

ApplicationHA のオンラインアップグレード

アプリケーションをオンラインにしたまま、インストーラを使って ApplicationHA 6.2 にオンラインアップグレードを実行できます。『Symantec ApplicationHA インストールガイド』に一覧表示されているサポート対象のアップグレードパスのいずれかを使います。

このアップグレード処理中に、ApplicationHA は設定済みアプリケーションの高可用性を監視しません。

vSphere Web クライアントの統合

Veritas Operations Manager 6.1 リリースの一環として vSphere Web Client 用 Symantec HA プラグインを導入しました。仮想化環境に VOM Management Server 6.1 とプラグインをインストールして設定すると、vSphere Web クライアントメニューから直接 ApplicationHA 操作を実行できます。これは、Symantec High Availability Console を使って vSphere クライアントメニュー(デスクトップ)と統合した既存の統合に付加するものです。vSphere Web クライアントの統合について詳しくは VOM 6.1 のマニュアルを参照してください。

vSphere Web クライアントを使った ApplicationHA のインストール、設定、管理のサポートに関する最新情報については、次の TechNote を参照してください。

<http://www.symantec.com/docs/TECH222796>

VMware バージョンの追加サポート

次の VMware バージョンがサポート対象になりました。

- vSphere Client 5.5 Update 1
- vCenter Server 5.5 Update 1

- VMware ESX Server と ESXi Server 5.5 Update 1
- VMware SRM Server 5.5 Update 1 (確認中)

追加されたオペレーティングシステムのサポート

次のオペレーティングシステム配布のサポートがこのリリースで導入されました。

- Red Hat Enterprise Linux 7

このリリースでの廃止事項

次の機能、条件、コンポーネント、またはオペレーティングシステムのサポートは、リリース 6.2 では継続されません。

- Red Hat Enterprise Linux 5

システム必要条件

Storage Foundation and High Availability Solutions をインストール、またはアップグレードする前に、最新の互換性リストをチェックして、ハードウェアとソフトウェアの互換性を確認してください。

- ソフトウェアの互換性リスト(SCL)には、サポート対象のソフトウェアについての情報が含まれ、定期的に更新されます。サポート対象のソフトウェアの最新情報については、次の URL を参照してください。
<http://www.symantec.com/docs/TECH225258>
- シマンテック社の高可用性エージェントがサポートするアプリケーションバージョンの最新情報については、次のサイトを参照してください。
<https://sort.symantec.com/agents>
- このリリースに関する重要な更新については、シマンテック社テクニカルサポート Web サイトの最新 TechNote を確認してください。
<http://www.symantec.com/docs/TECH211540>
- このリリースで利用可能な最新のパッチについては、次を参照してください。
<https://sort.symantec.com/>
- このハードウェア互換性リストにはサポートされているハードウェアの情報が記されており、定期的に更新されます。サポートされているハードウェアの最新情報については、次の URL を参照してください。
<http://www.symantec.com/docs/TECH211575>
- サポート対象のオペレーティングシステム、ハードウェア、ソフトウェアの必要条件、サポート対象のアプリケーション、他の一般的な必要条件については、『Symantec™ ApplicationHA インストール/アップグレードガイド』も参照してください。

ソフトウェアの制限事項

次の制限事項がこの製品リリースに適用されます。

ダッシュボードは、バージョン 5.1 または 5.1 SP1 の ApplicationHA ゲストコンポーネントを実行する仮想マシンを検出しません。

Linux の ApplicationHA 5.1 または Windows の ApplicationHA 5.1 SP1 を実行する仮想マシンのアプリケーション監視を管理するために、ApplicationHA のダッシュボードを使用することはできません。これは、ダッシュボード機能が ApplicationHA 5.1 SP2 および ApplicationHA のゲストのコンポーネントで導入され、古いリリースではダッシュボード機能がサポートされていないためです。ただし、[Symantec High Availability] タブでこのような仮想マシンのアプリケーション監視の管理を継続することができます。

回避策:

5.1 または 5.1 SP1 から ApplicationHA のゲストコンポーネントを ApplicationHA 5.1 SP2 以降にアップグレードします。

設定ウィザードではハードウェアの監視がサポートされない

ApplicationHA ウィザードを使ってストレージやネットワークなどのハードウェアコンポーネントを設定することはできません。

回避策

- VCS (シマンテック社 Cluster Server) のコマンドラインインターフェースまたは VOM (Veritas Operations Manager) を使って、ハードウェアコンポーネントを設定することもできます。

ApplicationHA 設定ウィザードでは仮想マシンあたり 1 アプリケーションのみがサポートされる

Symantec ApplicationHA 設定ウィザードを使って、仮想マシンあたり 1 アプリケーションのみを監視できます。

回避策

基になる VCS と VOM の概念に精通している場合は、監視用のアプリケーションやアプリケーションコンポーネントをさらに追加できます。

VCS コマンドまたは VOM を使って追加のアプリケーションを設定する方法について詳しくは、次のテクニカルノートを参照してください。

<http://www.symantec.com/docs/TECH159846>

アプリケーション監視設定を編集できない

アプリケーションを設定すると、ApplicationHA で設定を編集、追加できません。

回避策

既存の設定を削除して再設定します。

複数の同時インストールに時間がかかることがある

多数のシステムに ApplicationHA のゲストコンポーネントをインストールしようとする、処理に時間がかかることがあります。

回避策

ApplicationHA インストールプログラムまたはマルチシステムインストールの応答ファイルを使って、システムの小さいバッチを指定します。

ApplicationHA ダッシュボードは仮想マシン 1 台あたり最大 30 の (アプリケーション) コンポーネントのグループをサポートする

Symantec ApplicationHA は設定されたアプリケーションの監視を可能にするダッシュボードインターフェースを導入しています。このリリースでは、ダッシュボードは仮想マシン 1 台あたり 30 までの (アプリケーション) コンポーネントのグループをサポートします。

Symantec ApplicationHA は、Linux ゲストの Symantec Backup Exec をサポートしません

Symantec Backup Exec により、ApplicationHA 制御下の仮想マシンの「仮想マシンのオートリカバリ」を設定することができます。リリース 6.0 から、ApplicationHA は、Windows で実行されている仮想マシンで Symantec Backup Exec をサポートします。ただし、Symantec ApplicationHA は、Linux で実行されている仮想マシンでは Symantec Backup Exec をサポートしません。

既知の問題

次の既知の問題が製品のこのリリースに存在します。

App.RestartAttempts 設定の値を 2 以上にすると動作しない

App.RestartAttempts 設定オプションは、エラーが起きたアプリケーションまたはそのコンポーネントの再起動を Symantec ApplicationHA が試行する回数を定義します。1 から 6 までの値を設定できます。

特定のアプリケーション設定では、この値を 2 以上に設定すると動作しません。アプリケーションを正常に設定した後で、アプリケーションまたはそのアプリケーションと依存関係にあるコンポーネントでエラーが起きると、ApplicationHA は再起動を 1 回試みます。アプリケーションが起動しない場合、ApplicationHA はそのアプリケーションをエラーがある状態として報告します。(2508392)

この問題は、次のアプリケーションまたはコンポーネントにのみ該当します。

Windows の場合

- カスタムアプリケーション(サービス、処理、ストレージマウントを含む)

Linux の場合

- カスタムアプリケーション
- SAP Netweaver
- SAP Web アプリケーションサーバー
- WebLogic Server
- JBoss Application Server
- WebSphere Application Server
- WebSphere MQ
- Apache HTTP サーバー
- DB2

回避策

現在、この問題を解決する回避策はありません。

上記のアプリケーションでは、App.RestartAttempts の値を 1 に設定することを推奨します。

このように設定することで、エラーが発生したコンポーネントの再起動を、ApplicationHA が少なくとも 1 回試行するようにできます。それでもこのコンポーネントの起動に失敗する場合は、ApplicationHA はエラーの発生を宣言し、設定に従ってそれ以降の処理を行います(仮想マシンの段階的な再ブートなど)。

他のクラスタ製品との互換性

Symantec ApplicationHA は VCS (シマンテック社 Cluster Server) で実行します。ApplicationHA が使う VCS バージョンは、VCS のカスタマイズバージョンです。多くのコンポーネントは、仮想マシン内部の占有域を少なくするために削除されました。ApplicationHA と VCS の両方を一緒に同じ仮想マシンの内部で実行することはできません。ApplicationHA から VCS にアップグレードする方法はありません。

ApplicationHA は、シマンテック社が提供する他のクラスタソリューションと共存することはありません。これには、シマンテック社 Storage Foundation High Availability、Clustered File System、Clustered File System High Availability、Clustered Volume Manager が含まれます。

Symantec High Availability タブの問題

同じ仮想マシンにシマンテック社 SF (Storage Foundation) と ApplicationHA の両方をインストールしている場合は、SF を削除し、vSphere クライアントの Symantec High Availability タブは働きを停止します。(2136077)

回避策

ApplicationHA をインストールした仮想マシンにシマンテック社 SF (Storage Foundation) をインストールしようとする、SF インストールのエラーが示されることがあります。

SF を削除すると、システムから VRTSsfmh rpm が自動的に削除されます。vSphere クライアントには、仮想マシンと通信する VRTSsfmh rpm が必要です。

VRTSsfmh を復活するには、次の手順を実行します。

- 1 ApplicationHA インストールメディアから VRTSspt と VRTSsfmh rpms をインストールします。
- 2 xprtld サービスを停止します。

```
# /etc/init.d/xprtld stop
```
- 3 /etc/opt/VRTSsfmh/xprtld.conf ファイルに次の行が存在しない場合は追加します。

```
namespaces vcs=/opt/VRTSvc/portal
```
- 4 xprtld サービスを開始します。

```
# /etc/init.d/xprtld start
```

アプリケーション監視設定のフリーズ

ホスト名がハイフンで始まるシステムにアプリケーション監視を設定するとこの問題が起きます。(2038685)

アプリケーション監視設定がフリーズし、vSphere クライアントの ApplicationHA ビューがアプリケーションの状態を表示しないことがあります。設定したアプリケーションが失敗しても、ApplicationHA は何の対応もしません。

シマンテック社は、ApplicationHA をインストールし、インストールしたシステムでアプリケーション監視を設定する前に、ホスト名がハイフンで始まるシステムの名前を変更することを推奨します。

VMware のスナップショットによる操作と仮想マシンの移行中に発生する問題

Symantec ApplicationHA がアクティブにアプリケーションを監視しているシステムでは、仮想マシンの管理中に次の問題が発生する可能性があります。

- 仮想マシンのスナップショットと連携して操作している場合

この問題は、vCenter Server バージョン 4.0、4.1、4.1 Update 1 をインストールした場合にのみ発生します。この問題は、vCenter Server バージョン 5.0 をインストールした場合には発生しません。

仮想マシンのスナップショットを作成している間、ApplicationHA のビューが瞬間的にフリーズし、監視中のアプリケーションの現在の状態を表示できなくなります。また、スナップショットを復帰した後、操作が完了した仮想マシンが再ブートする場合があります。

vSphere Client の [タスクおよびイベント (Tasks & Events)] タブの [イベント (Events)] ビューに、次の警告メッセージが表示されます。

<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビートが失敗しました

<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusRed に変わりました

<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusGreen に変わりました

- 仮想マシンを代替 ESX ホストへ移行している場合

仮想マシンの移行を開始した場合、ApplicationHA のビューが瞬間的にフリーズし、監視中のアプリケーションの現在の状態を表示できなくなります。

vSphere Client の [タスクおよびイベント (Tasks & Events)] タブの [イベント (Events)] ビューに、次の警告メッセージのうちのいくつかが表示されます。

<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusGray に変わりました

<datacentername> 内のクラスター <clustername> の <ESX ホスト> にある
<virtualmachinedisplayname> のためのアプリケーションのハートビート状態が
appStatusGreen に変わりました

回避策

これは VMware HA に関する既知の問題です。この問題のパッチについては、次の VMware ナレッジベースの記事を確認してください。

<http://kb.vmware.com/kb/1027413>

シマンテック社は、スナップショットと連携する操作、または仮想マシンの移行を実行する前に、仮想マシンのアプリケーションハートビート (ApplicationHA ビューにある [アプリケーションハートビートの無効化 (Disable Application Heartbeat)] ボタン) を無効にすることを推奨します。仮想マシンの管理アクティビティが完了した後、アプリケーションハートビート (ApplicationHA ビューにある [アプリケーションハートビートの有効化 (Enable Application Heartbeat)] ボタン) を再度有効にしてください。

Symantec ApplicationHA コマンドがロケール設定どおりの時間を表示しない

この問題は、出力に日時タイムスタンプを表示するすべての ApplicationHA コマンドで起きます。日時タイムスタンプがシステムのロケール設定どおりに表示されません。英語でのみ表示されます。(2142740)

[Symantec High Availability] タブがフリーズする場合があります

ApplicationHA が仮想マシンとの接続を確立できなかった場合、vSphere Client の [Symantec High Availability] タブがフリーズする場合があります。[Symantec High Availability] ビューのアプリケーションの状態がハングアップ状態のようになり、更新できません。(2125902)

回避策

これは仮想マシンが ApplicationHA の HTTP 要求の応答に失敗した場合に発生します。仮想マシンは中断状態にあるか、または代替 ESX ホストへの移行の過程に入っていることが考えられます。

次の処理を実行します。

- 仮想マシンの電源がオンになっており、ネットワークにアクセス可能であることを確認します。
- [Symantec High Availability] タブを閉じ、再度開きます。
vSphere Client で別の仮想マシンをクリックし、元の仮想マシンを再度クリックした後に、[Symantec High Availability] タブを選択します。または、vSphere Client を終了し、再び起動します。

インストールディレクトリに複数の「%」文字が含まれる場合、Symantec High Availability コンソールのインストールでエラーが発生し、プラグインの登録が失敗する

この問題は、Symantec High Availability コンソールインストーラを使って Symantec High Availability コンソールをインストールするときに発生します。[システム検証 (System Validation)] パネルで、連続した「%」文字を含むパスにインストールディレクトリをカスタマイズすると、ウィザードによって検証チェックが正常に完了され、次へ進むことができます。

す。ただし、[インストール後の概略 (Post-install Summary)] パネルで[次へ (Next)] をクリックすると、ウィザードで「プライベートドメインの作成に失敗しました。(Failed to create private domain.) 指定したパスを見つけることができません (The system cannot find the path specified)」エラーが表示されます。このエラーメッセージで[OK]をクリックして、インストールを続行できます。ただし、インストールワークフローの完了後、ウィザードは ApplicationHA プラグインを vCenter Server に登録できません。

コンソールサーバーで利用可能な PluginMgmt.bat ユーティリティを使ってプラグインを検証すると、プラグインの状態がプラグインがすでに登録されていると示されます。しかし、vCenter Server で利用可能な Plug-in Manager でプラグインの状態を検証すると、プラグインの状態が「Download & Install」になります。

回避策

Symantec High Availability コンソールのインストールウィザードを再起動し、複数の「%」文字を含まない有効なパスを指定します。

Veritas Operations Manager がアンインストールされた場合に ApplicationHA が動作しない

VOM (Veritas Operations Manager) の Managed Host コンポーネントは、ApplicationHA のインストール時に Console Server とゲスト仮想マシンにインストールされます。(2361128、2323516)

VOM をアンインストールすると VRTSsfmh RPM が削除されるため、ApplicationHA 機能が失われます。VRTSsfmh RPM には、ApplicationHA と VOM の両方で使われる「Veritas Storage Foundation Messaging Service」(xprtId) が含まれています。

メモ: この問題は、Veritas Operations Manager Central Server をアンインストールしたときにも発生します。

回避策

次の手順の実行

- 1 ApplicationHA ソフトウェアディスクをシステムドライブに挿入し、目的のオペレーティングシステムのRPMがあるディレクトリに移動します。

オペレーティングシステム	ディレクトリ
Oracle Linux 6	rhel6_x86_64
Red Hat Enterprise Linux 6	rhel6_x86_64
SUSE Linux Enterprise Server 11	sles11_x86_64

たとえば、RHEL 6 オペレーティングシステムを実行しているコンピュータに ApplicationHA をインストールするには、次のように行います。

```
# cd cdrom_root/applicationha/rhel6_x86_64/rpms
```

- 2 次のコマンドを実行します。

```
# rpm -ivh VRTSsfmh-*.rpm
```

*は Linux rpm のバージョンです。たとえば、ApplicationHA 6.0 の場合はバージョン 4.1.119.0 で、ApplicationHA 6.1 の場合は 6.0.0.0 です。

- 3 xprtld サービスを停止します。

```
# /etc/init.d/xprtld stop
```

- 4 ファイル /etc/opt/VRTSsfmh/xprtld.conf に次のテキストが含まれていることを確認します。

```
namespaces vcs=/opt/VRTSvc/portal
```

- 5 xprtld サービスを開始します。

```
# /etc/init.d/xprtld start
```

- 6 vSphere クライアントの [Symantec High Availability] タブで、シングルサインオン (SSO) を設定します。

SSO の設定について詳しくは、『Symantec ApplicationHA ユーザーズガイド』を参照してください。

vSphere Client の統合メニューを使った ApplicationHA のゲストコンポーネントのインストールが「ログオンに失敗しました (Failed to log-on) ...」エラーで失敗する場合がある

vCenter の統合メニューを使って ApplicationHA のゲストコンポーネントをインストールする際、インストールワークフローは正常に完了します。ただし、インストールのためにタスクがキューに入った後に、一部の仮想マシンでインストールが「ログオンに失敗しました (Failed to log-on)」エラーで失敗する可能性があります。(2361891)

また、「MKS エラー (MKS error) ...」が、vSphere Client を使用してこれらの仮想マシンに接続を試みると表示される場合があります。

回避策

- 次の場所で VMware KB を参照してください:

```
http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?
language=en_US&cmd=displayKC&externalId=749640
```

- インストールが失敗した仮想マシンを再起動してください。
- 問題が続く場合、ネットワーク管理者に連絡してください。

vMotion により健全性の表示とダッシュボードの更新で遅延が発生する

VMware vMotion が有効な仮想マシンのアプリケーション監視を設定した場合、vMotion のプロセスはアプリケーションに障害が発生し、仮想マシンが再ブートするとトリガされます。(2363462)

vMotion が原因で、再ブート後に仮想マシンが起動し、アプリケーションが新しい ESX ホストのフェールオーバー仮想マシン上でオンライン状態になる。アプリケーションがオンライン状態でも、ApplicationHA の健全性の表示とダッシュボードはわずかな遅延の後にアプリケーションの状態を反映します。

アプリケーションにエラーが発生している場合でも vMotion アプリケーションハートビートの状態が「appStatusGreen」と表示される

アプリケーションにエラーが発生した後に VM 再ブートの代わりに VMware vMotion をトリガすると、アプリケーションにエラーが発生しているにもかかわらず仮想マシンの [タスクとイベント (Tasks and Events)] に「appStatusGreen」のアプリケーション状態が反映されます。(2363487)

この問題は、VMware vSphere 4.0 と 4.1 の使用時に発生します。

テストリカバリ中に両方のサイトの ApplicationHA ダッシュボードに更新が表示される

テストリカバリの VMware クラスタネットワーク設定により、フェールオーバーした仮想マシンが保護されたサイト Symantec High Availability コンソールと通信できる場合 (MAC アドレスが保護されたサイトの MAC アドレスと同一であるため)、アプリケーション監視に対して実行した管理タスクにより生じた更新が両方のサイトの ApplicationHA ダッシュボードに反映されます。(2363496)

ゲストのインストールがエラー「ゲストインストーラプロセスの起動に失敗しました (Failed to launch the guest installer process)」で失敗する

この問題は vSphere Client メニューを使用して Symantec ApplicationHA のゲストコンポーネントをインストールするときに発生します。

インストールワークフローが完了した後、仮想マシンはインストールのためにキューに入ります。ただし、vSphere Client のタスクの「ゲストインストーラプロセスの起動に失敗しました (Failed to launch the guest installer process)」エラーで、インストールプロセスの起動が失敗する可能性があります。

回避策

インストールが失敗した仮想マシンで、インストールウィザードを再び実行します。

[Symantec High Availability] タブを複数回更新するとネットワーク接続エラーが表示される

この問題は通常は IE7 ブラウザで発生します。

[Symantec High Availability] タブは、60 秒ごとにアプリケーション状態を更新します。ただし、ApplicationHA ビューを手動で複数回更新した場合にネットワークエラーが発生した場合は、IE にネットワーク接続エラーが表示されます。(2379946、2379707)

エラーメッセージで [OK] をクリックし、vSphere Client で別の仮想マシンをクリックすると、[Symantec High Availability] タブには、不明なアプリケーションのアプリケーション状態が表示されます。

この問題は、[Symantec High Availability] タブを更新し、同時に仮想マシンをリセットした場合も発生します。

回避策

詳しくは、Microsoft 社からの次のサポート技術情報の記事を参照してください。

http://support.microsoft.com/kb/927917#more_information

Tab キーを使ったフィールドの選択が[vCenter Server ユーザー詳細 (vCenter Server User Details)]パネルで機能しない場合がある

この問題は、vSphere Client メニューを使って ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールするときに[vCenter Server ユーザー詳細 (vCenter Server User Details)]パネルで発生します。通常、この問題は Adobe FlashPlayer バージョン 10.1 をシステムにインストールしている場合に発生します。(2362878)

回避策

各フィールドをクリックして入力を指定する必要があります。

ApplicationHA インストーラの設定オプションが正しく機能しない

Symantec ApplicationHA インストーラを実行すると、ApplicationHA を設定するための [インストールされた製品の設定 (Configure an Installed Product)] というオプションが表示されます。

このオプションを指定すると、インストーラは ApplicationHA の設定に失敗します。代わりに、インストーラは特定の ApplicationHA プロセスの停止を始めます。(2621468)

回避策

インストーラオプションを使ってアプリケーションを設定しないでください。代わりに、アプリケーション監視用に Symantec ApplicationHA を設定するため、次のいずれかの方法を使ってください。

- すでに ApplicationHA がインストールされている場合は、次の URL に移動し、[アプリケーション監視の設定 (Configure Application Monitoring)] リンクを使って Symantec ApplicationHA アプリケーション監視設定ウィザードを起動します。

```
https://<virtualmachineNameorIPAddress>:5634/vcs/admin/  
application_health.html?priv=ADMIN
```

- Symantec ApplicationHA Configuration ウィザードは、VMware vSphere クライアント GUI の [Symantec High Availability] タブから起動できます。
詳しくは、『Symantec ApplicationHA ユーザーズガイド』を参照してください。

リカバリサイトで Symantec High Availability コンソールのシングルサインオンが失敗する

SRM 環境での ApplicationHA の設定には、保護されたサイトの仮想マシンと、リカバリサイトの Symantec High Availability コンソール間のシングルサインオン (SSO) の設定が含まれます。

Symantec High Availability コンソールサーバーが仮想マシンにインストールされているか、または日本のロケールのオペレーティングシステムを実行する物理システムがインストールされている場合、サイト間のシングルサインオンの設定は失敗します。

回避策については、**Symantec** サポートにお問い合わせください。

ダッシュボードが動作しない

Symantec ApplicationHA 5.1 から仮想マシンをアップグレードする場合、アップグレードの後、**ApplicationHA** ダッシュボードは次の条件が起きれば仮想マシンを表示しないことがあります。

- アップグレードするときに、**ApplicationHA** ゲストコンポーネントが動作しません (2581676)

回避策

次の手順を実行します。

1. # /etc/init.d/vcs start
2. VCS が起動するのを待ちます(約 2 分)
3. #/opt/VRTSvcs/portal/admin/synchronize_guest_config.pl

Storage Foundation のアンインストールで警告が発せられる

仮想マシンから **Storage Foundation 6.0** をアンインストールする場合、**ApplicationHA** を設定解除してアンインストールすると、次の **CPI** 警告が表示されます。

```
CPI WARNING V-9-40-3866 The VRTSsfmh rpm on <system_name> will be
uninstalled. Note that the system <system_name >is reporting to
the following management servers: appha://192.168.10.140
```

この警告は無視してかまいません。

ユーザーが Symantec High Availability ウィザードのデフォルトのログパスを修正できない

Symantec High Availability ウィザードは、そのバックエンドログをデフォルトで次のディレクトリに書き込みます。

```
/var/VRTSvcs/log/
```

ApplicationHA ユーザーはこのデフォルトパスを修正できません。この問題の回避策はありません。(3609791)

アプリケーション監視が保守モードで終了した場合に再開しないことがある

[Symantec High Availability]ビューでアプリケーション監視を中断し、後で[保守モードの終了 (Exit Maintenance Mode)]をクリックして再開すると、アプリケーション監視が予想どおりに再開しないことがあります。

タブビューを更新すると、アプリケーション監視の設定リンクが表示されることがあります。[保守モードの終了 (Exit Maintenance Mode)]をクリックしてから内部コマンドが完了するまでにかかる時間にばらつきがあるので、一部の設定でまれにこの問題が起きることがあります。場合によっては、内部コマンドが完了する前に HAD (High Availability Daemon) モジュールがアプリケーション監視を終了し、停止することがあります。(3640282)

回避策

次の手順を実行します。

1. コマンドラインから、次のコマンドを実行します。

```
# /opt/VRTSvcs/bin/hastart -onenode
```

2. [the Symantec High Availability]ビューで、[保守モードの終了 (Exit Maintenance Mode)]をクリックしてアプリケーション監視を再開してみてください。

Symantec High Availability のログをコピーして貼り付けることができない

vSphere クライアントで[Symantec High Availability]タブの[ログの表示 (View Logs)]リンクをクリックすると、ログの内容をコピーして貼り付けることができない場合があります。この問題は、vSphere 5.5 Web クライアントから[Symantec High Availability]タブにアクセスすると起きます。

この問題は vSphere 5.1 Web クライアントでは起きません。(3504113)

ダッシュボードの[状態 (Status)]列と[システム (System)]列のデータが突然非表示になる

vSphere Web クライアントから[Symantec High Availability]ダッシュボードにアクセスすると、[状態 (Status)]列と[システム (System)]列のデータが突然非表示になることがあります。この問題は、VMware vSphere 5.1 でのみ起きます。(3509084)

回避策

- Web ブラウザのキャッシュを消去してから VMware vSphere Web Client を再起動します。

- VMware vSphere Web クライアントの [Symantec High Availability] タブ以外のタブ ([ストレージ (Storage)], [レポート (Reports)] など) をクリックして [Symantec High Availability] タブに移動します。

[Symantec High Availability] タブは、vCenter から Symantec HA プラグインを登録解除してもそのまま維持されます。

Veritas Operations Manager に vCenter サーバーを追加すると、Symantec HA プラグインが vCenter サーバーに登録されます。その vCenter と関連付けられた仮想マシンでは、vSphere Web クライアントに [Symantec High Availability] タブが表示されます。プラグインを登録解除すると、タブも非表示になるはずですが、現在 [Symantec ApplicationHA] タブは誤って vSphere Web クライアントに含まれています。(3498886)

回避策

設定に基づいて、以下のリストに示した手順を実行します。

Symantec HA プラグインをサポートするように複数の vCenter サーバーを設定してすべての vCenter サーバーからプラグインを登録解除する場合は、両方の手順を実行します。

複数の vCenter サーバーを設定し、すべての vCenter サーバーからプラグインを登録解除する必要がない場合は、vSphere Web クライアントサービスの再起動のみが必要です。

メモ: VOM 管理サーバーから Symantec HA プラグインのアドオンを削除するには、すべての vCenter サーバーからプラグインを登録解除して次の両方の手順を実行する必要があります。

1. VMware vSphere Web Client のホストの次の場所からキャッシュプラグインデータを削除します。

```
C:\ProgramData\VMware\vsphere Web  
Client\vc-packages\vsphere-client-serenity\com.symantec.applicationhawe-6.1
```

2. VMware vSphere Web Client サービスを再起動します。

このリリースでのソフトウェアの修正点と拡張機能

ここでは、このリリースで修正された Symantec ApplicationHA のインシデント情報を説明します。

インシデント番号 説明

3335745	ApplicationHA のアップグレード中に、インストールプログラムでキーレスライセンスを指定するオプションは提示されません。
3491170	ApplicationHA のインストーラで、英語以外のロケールの EULA の誤ったパスが表示される
3491158	ApplicationHA 6.0 以前で、詳細監視用に Oracle データベースインスタンスを設定している場合は、ApplicationHA 6.1 にライブアップグレードを実行することはできません。
3292905、3402560	ApplicationHA を使って仮想マシンの複数のアプリケーション(コンポーネントグループ)を監視する場合は、そのうちの 1 つのアプリケーションでエラーが起きると、ApplicationHA はエラーが起きたアプリケーションを再起動しません。 ただし、一方で VMWAppMonHB エージェントは他の健全なアプリケーションをオフラインにすることがあります。
3536489	VMware vSphere クライアントのメニューから ApplicationHA のゲストコンポーネントをインストールする場合は、インストーラが ksh RPM のインストール前のチェックを実行しないことがあります。

マニュアル

Symantec Storage Foundation and High Availability Solutions 製品のマニュアルは、製品ディスクまたはダウンロードされたソフトウェアに Adobe の PDF (Portable Document Format) 形式で含まれています。このリリースでのマニュアル変更について詳しくは、リリースノートを参照してください。

マニュアルの最新版を使用していることを確認してください。マニュアルのバージョンは各ガイドの 2 ページ目に記載されています。マニュアルの発行日付は、各マニュアルのタイトルページに記載されています。最新の製品マニュアルはシマンテック社の Web サイトで入手できます。

Symantec ApplicationHA のマニュアルは、/docs/applicationha ディレクトリのソフトウェアメディアにあり、PDF 形式で利用可能です。追加マニュアルはオンラインで入手できます。

<http://sort.symantec.com/documents>

マニュアルセット

このトピックでは、リリースノート、インストールガイド、ユーザーズガイド、エージェントガイドなどを含む、Symantec ApplicationHA のマニュアルセットについて説明します。

Symantec High Availability Console には、ApplicationHA 機能と VMware vSphere Client メニューが統合されています。このトピックでは、Symantec High Availability Console のマニュアルの一覧も記載します。

Symantec High Availability Console マニュアル

表 1-2 は Symantec High Availability Console コンポーネントに関するマニュアルのリストです。

表 1-2 Symantec High Availability Console マニュアル

マニュアル名	ファイル名	説明
Symantec High Availability Console リリースノート	sha_console_notes_62.pdf	Symantec High Availability Console のシステム必要条件、変更、修正されたインシデント、既知の問題、制限事項などのリリース情報を提供します。 このコンポーネントは VMware vSphere Client GUI を使用して VMware 仮想環境で Symantec Cluster Server (VCS) または Symantec ApplicationHA を配備するのに不可欠です。
Symantec High Availability Console インストール/アップグレードガイド	sha_console_install_62.pdf	Symantec High Availability Console をインストールまたはアップグレードするのに必要な情報を提供しています。

Symantec ApplicationHA のマニュアル

表 1-3 は Symantec ApplicationHA に関するマニュアルのリストです。

表 1-3 Symantec ApplicationHA のマニュアル

マニュアル名	ファイル名	説明
Symantec ApplicationHA リリースノート	applicationha_notes_62_vmware_lin.pdf	新しい機能、ソフトウェアおよびシステムの必要条件を説明します。また、このマニュアルにはリリース時における制限事項と既知の問題の一覧が掲載されています。
Symantec ApplicationHA インストール/アップグレードガイド	applicationha_install_62_vmware_lin.pdf	Symantec ApplicationHA をインストール、設定、管理する手順を説明します。いくつかの最も全般的なトラブルシューティング手順についても説明します。

マニュアル名	ファイル名	説明
Symantec ApplicationHA ユーザーズガイド	applicationha_users_62_vmware_lin.pdf	ローカル VMware クラスタ環境および VMware サイトリカバリ環境で ApplicationHA を設定する方法について説明します。いくつかの最も全般的なトラブルシューティング手順についても説明します。
Symantec ApplicationHA Agent for Oracle 設定ガイド	applicationha_oracle_agent_62_vmware_lin.pdf	Oracle のアプリケーション監視を設定する方法について説明します。
Symantec ApplicationHA 汎用アプリケーションエージェント設定ガイド	applicationha_gen_agent_62_vmware_lin.pdf	汎用アプリケーションのアプリケーション監視を設定する方法について説明します。
Symantec ApplicationHA Agent for DB2 設定ガイド	applicationha_db2_agent_62_vmware_lin.pdf	DB2 のアプリケーション監視を設定する方法について説明します。
Symantec ApplicationHA Agent for Apache HTTP Server 設定ガイド	applicationha_apache_agent_62_vmware_lin.pdf	Apache HTTP Server のアプリケーション監視を設定する方法について説明します。

Veritas Operations Manager (VOM) は Symantec Storage Foundation and High Availability Solutions 製品を管理するために使用する管理ツールです。VOM を使用する場合は、次より VOM 製品マニュアルを参照してください。

<http://sort.symantec.com/documents>